

「うべ交通まちづくり市民会議（うべこまち）」が宇部市立藤山中学校で展開された自転車危険 マップ づくり ワークショップに参加しました。

2022年7月27日(水)JR宇部線居能駅と岩鼻駅の間にある藤山中学校に伺いました。コロナ第7波が猛威を振るう中、開催が危ぶまれましたが屋外での活動ですので無事行うことができました。

うべこまちでは、自転車危険箇所マップづくりワークショップを実施し、自転車ルールの啓発、自転車ネットワークの理解をとおして、交通安全コミュニティづくりに取り組んでおられます。コミュニティースクールの取り組みとして行うことで、うべこまちのメンバーだけでなく宇部市道路整備課の職員や藤山中学校の先生、地域の高校の先生、ふれあいセンターや地域の推進員など多彩な方々が協力されていました。宇部日報の記者が取材に来られ、一緒に参加されました。一方、生徒の参加は8名（予定16名）と大人の人数に対し少し寂しい感じでした。

9:00 から代表の村上さんの説明の後、3つの班に分かれて通学路を点検し危険箇所の写真を撮って歩きました。10:30頃学校に戻り教室で各班に分かれて、調査した結果をおさらいしました。この内容を8/4にまとめ発表されるそうです。中学生が自分たちで調査した内容をパワーポイント等でまとめプレゼンテーションすることで、新たな力を身に付けてくれることと思います。



<うべ交通まちづくり市民会議（うべこまち）>

2010年に結成された団体で、主にエコな自転車交通の環境改善をめざして、当事者の高校生や中学生の意見を集め、行政にはたらきかけハード・ソフトの両面から取り組むことにより、人にやさしく車に頼りすぎない持続可能な地域社会の実現を目的としています。宇部市道路整備課も自転車道を整備しようとの思いがあり、若手職員が熱心に参加されていました。既にここ数年、高校生を対象に協働でワークショップを実施されておられるようです。

・前日7/26夕方に、宇部市まちなか環境学習館（銀天エコプラザ）2階環境図書室で行われた打ち合わせ会議から参加させていただきました。



・この同じ建屋の4Fに「宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA）」が入っておりますので、会議の前に訪問しご挨拶させていただきました。UNCCAのメンバーの一人がうべこまちにも参加されていました。お互いが協力し合える間柄というのはいいですね。

（井上）